

2024年度 重点チャレンジ活動報告

カーボンニュートラルに向けた事業運営(カーボンニュートラル推進部会)

◆道路の維持管理に係る取組

*1 特許出願中 *2 特許取得(吊構造用ケーブルの防食方法)

【道路照明のLED化、低位置化】

LED化による消費電力削減及び海峡部橋梁の照明低位置化によるメンテナンス効率化を進めています。2024年度には、IC及びSA・PA駐車場のLED化を完了し、新開発橋梁用広スパン低位置道路照明^(※1)による海峡部橋梁のLED化に着手しました。(⇒ 2025年度中に海峡部橋梁のLED化完了を予定)

【ケーブル送気設備の効率化】

吊橋ケーブル内に乾燥した空気を送り込んでケーブルの腐食を抑制する「送気乾燥システム^(※2)」について、外気湿度に応じた経済的運転による消費電力削減を進めています。2024年度には、消費電力削減の試験及び検証を実施しました。(⇒ 2025年度より順次改良発注を予定)



橋梁用広スパン
低位置道路照明



紹介動画

◆SA・PA管理運営に係る取組

【SA・PAの省電力化】

SA・PA建物照明のLED化、断熱・遮熱機能向上により、エネルギー消費抑制を進めています。(⇒ 2025年度より瀬戸田PA(上り)にてZEB Orientedでのリニューアル工事を予定)

【次世代自動車普及促進、物流効率化】

SA・PAにおけるEV急速充電設備の拡充やダブル連結トラックの展開等を見据えたSA・PA整備に取り組んでいます。2024年度には、EV充電サービス事業者と設備の設置に係る協定を締結しました。(⇒ 2025年度中にEV急速充電設備新設を含む拡充工事を予定)



瀬戸田PA(上り)
改築イメージ

2024年度 重点チャレンジ活動報告

◆会社運営・組織に係る取組

【業務用車両の電動化】

車両更新時にあわせて電動車への転換を進めています。2024年度は、連絡車10台、維持管理用作業車7台を電動車に更新しました。

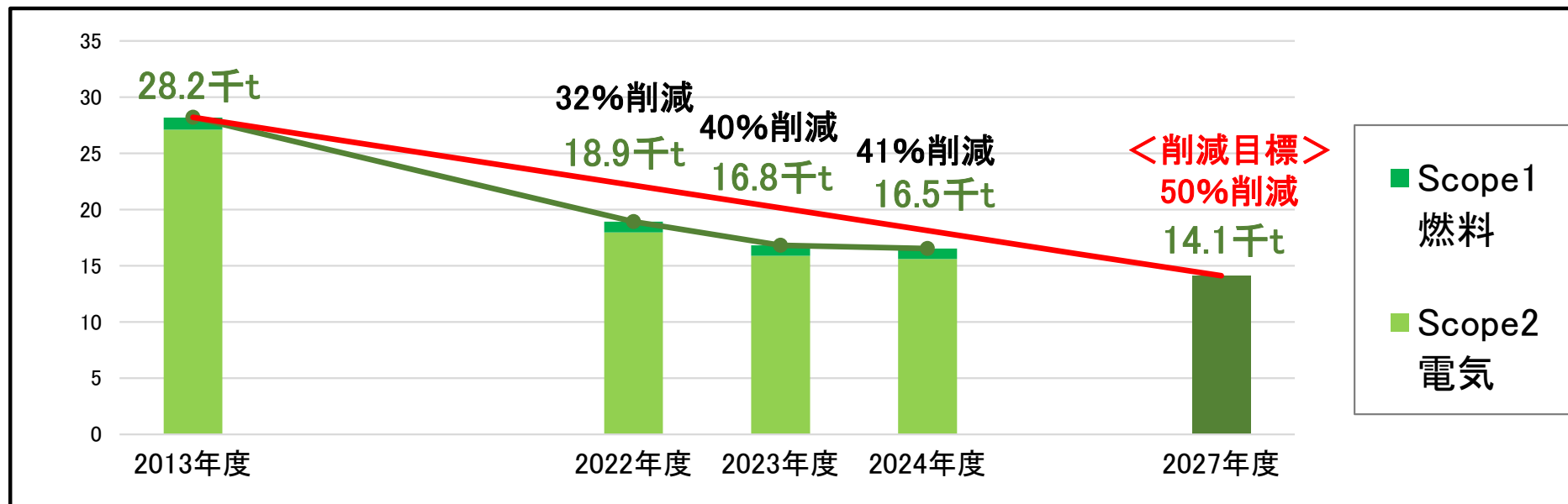
【カーボンニュートラル取組企業の評価】

カーボンニュートラルに向けた取組が受注者のインセンティブとなるように、工事にかかる総合評価落札方式の評価内容に、カーボンニュートラルの取組を追加しました。(⇒ 2025年度以降の工事発注が対象)



PHEVベースの
維持管理用作業車

CO2排出量の推移(対2013年度比較)



※数値はJB本四高速分

2024年度 重点チャレンジ活動報告

瀬戸内地域の環境保全活動の促進(地域保全活動促進部会)

◆環境保全活動への参加

地域社会と連携した環境保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。2024年度は地域の自然環境を守ることを目的に、他団体が主催する清掃活動や地域と協力して行う清掃活動に計169名が参加しました。

具体的には、「離島海ごみ清掃活動(本社)」や「瀬戸内スポGOMI大会(しまなみ今治管理センター)」などに参加し、地域住民の皆さまと協力しながら、美しい景観の維持と地域の魅力発信に取り組みました。



海ごみの現状・課題
について学習～女木島
(本社)



クリーンアップ活動～岩黒島
(坂出管理センター)



瀬戸内スポGOMI大会
(今治管理センター)



離島海ごみ清掃活動～与島
(本社)

2024年度 重点チャレンジ活動報告

◆せとうち島塾の実施

実施回	対象者	参加人数 (名)
第10期 4月12日(金)	社内研修 (2024年度新規採用社員)	29
第11期 9月25日(水)～26日(木)	グループ会社 (JBHS、JBTS社員)	19
第12期 11月1日(金)	社外研修 (JB本四高速関係者)	10
第13期 11月7日(木)～8日(金)	グループ会社 (HBE 2024年度新規採用社員)	16
第14期 11月14日(木)～15日(金)	グループ会社 (HBE 2022、2024年度新規採用社員)	14

「せとうち島塾」は、瀬戸内地域の島しょ部における人口減少問題等の様々な課題の解決、SDGsの啓発を目的に開催する環境教育プログラムであり、2024年度は香川県の塩飽諸島に属する讃岐広島にて計5回実施しました。

参加者は、海岸での海ごみ清掃やタイドプールチャレンジ※等の調査を通じて環境問題への理解を深め、登山道整備では地域資源の保全に取り組みました。

また、空き家学習では改修事例の見学やマップ作成を通じて利活用の可能性を探り、獣害被害対策の体験学習では罠の仕組みや実地確認を通じて地域の課題に触れました。

※潮だまりの生物環境教育



タイドプールチャレンジ



クリーンウォーク(清掃活動)



獣害被害対策の体験学習